

## 【報告事項】

## 令和3年度 事業計画

### 事業方針

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大により、経済は大きく停滞し、在宅勤務など働き方の変化、個人の生活様式も変革を余儀なくされた。今後も新型コロナウイルス感染拡大の収束が不透明な中で経済との両立を踏まえた行動が求められている。

そのような状況下、世界では中国が「60年までにCO<sub>2</sub>排出量ネットゼロ」を目標に掲げ、米国・欧州連合(EU)・英国も50年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目標とし、環境規制の方針も示され、全世界がカーボンニュートラルへの方向性を明確にした。

日本でも菅政権が、令和2年10月、2050年までにCO<sub>2</sub>の排出を「実質ゼロ」にする目標を打ち出し、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。

令和2年12月には、温暖化への対応を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、成長の機会と捉える時代に突入したとする「経済と環境の好循環」をつくる産業政策、「グリーン成長戦略」を発表し、具体的な数値目標や支援策を盛り込んでいる。

今日の環境問題は、地球規模での異常気象、廃棄物の増加など、人類の社会経済活動から生じる、多様且つ複雑なもので環境上の諸課題にあらゆる方面から取り組まなければならない。とりわけ気候変動は、喫緊に全世界で取り組むべき環境問題・課題である。

令和2年7月の九州豪雨での河川の氾濫・梅雨前線の長期間の停滞・8月の記録的猛暑など気象は異例づくめであった。原因は二酸化炭素の人為的排出による地球温暖化である。化石燃料の利用という我々の社会経済を支えている活動に起因し、経済成長とCO<sub>2</sub>排出削減の同時解決が必要となり、その実現には「技術革新」が不可欠となる。米国が復帰した平成27年のCOP21で採択されたパリ協定は温暖化対策の国際的な枠組みであり、カーボンニュートラルを各国が着実に取組を進展させていくことが重要となる。しかし環境問題は地球温暖化だけでなく、SDGsの理念の考え方に立ち、資源循環の更なる展開、自然環境の保全・再生をはじめ様々な対策により、環境上の諸課題を解決することが、地域活性化など社会経済の諸課題も同時に解決し、新たな成長に寄与するためにも必要となる。地球温暖化対策、省エネ、再エネなど「環境」に関わる活動が不可欠で、CO<sub>2</sub>排出ゼロを目指す取組、例えば、レジ袋有料化などライフスタイルの転換等、具体的な実践が益々、重要となっている。

当協会としては、「守る環境」(法令遵守)に加えて、多面的な視点から環境問題を取り上げ、引き続き行政との連携を図り必要な知識を学習・理解してもらうことを目的とした研修会、産学連携の講座の継続、森林整備ボランティア活動による体験型研修を継続企画し、環境エキスパートの人材育成に努める。同時に、滋賀県の協会として琵琶湖の保全・自然・人がどのように関わるかを考えながら環境共生をつくり出していくことも重要となっている。

令和2年1月「“しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”ムーブメント」のキックオフが宣言された。当協会も県内事業者等と連携し全県的なムーブメントとして広げていく為、取組の趣旨に賛同し、また令和3年2月には、滋賀県と意見交換会を実施した。新型コロナウイルス感染症に対しては、行政・会員企業と連携していく。

令和3年8月に当協会は設立40周年を迎える。設立から40年の歩みを振り返ると共に将来を考える機会でもある。

本年度も滋賀県琵琶湖環境部、大津市環境部、滋賀県各環境事務所、関係団体との連携を深めながら、公益社団法人として、会員の皆様の環境活動にお役に立てる様に主要事業を中心に着実に展開し、設立40周年の事業は、記念事業実行委員会、記念誌編集委員会で企画していく。

## 令和3年度事業計画

※文書内( )は、(公)=公益目的事業、(収)=収益事業、(法)=法人管理別に事業仕分

### 《 総務広報委員会 》

1. (公)・広報誌「碧い湖」の年間2回(上期・下期)発行  
時宜を得た特集テーマをメインに掲載他、新規会員企業を紹介する  
令和3年上期の特集は新春対談「琵琶湖環境部石河部長と当協会仁連会長」
2. (公)・新春賀詞交歓会・・・特別講演会、賀詞交歓会  
令和4年1月予定 琵琶湖ホテル
3. (収)・設立40周年記念誌発行 令和3年11月予定
4. (収)・設立40周年記念座談会 令和3年8月予定

### 《 企画委員会 》

1. (法)・表彰事業(滋賀県知事表彰)・・・令和3年11月15日(月)  
・表彰事業(滋賀県環境保全協会会長表彰)・・・令和3年11月15日(月)  
設立40周年記念式典にて実施  
個人・団体・企業別表彰後、プレゼンテーションを実施予定
2. (公)・森林整備ボランティア活動  
①開催時期:令和3年10月16日(土) 雨天の場合は翌17日(日)  
開催場所:多賀 高取山ふれあい公園  
②開催時期:令和3年10月23日(土) 雨天の場合は翌24日(日)  
開催場所:朽木 森林公園くつきの森  
③開催時期:令和3年10月30日(土) 雨天の場合は翌31日(日)  
開催場所:栗東 こんぜの里  
①②③共に10:00~12:30  
2日間雨天の場合は中止
3. (公)・びわ湖の日(7月1日)40周年記念イベントを滋賀県と共催で計画予定  
開催時期は未定
4. (公)・産学連携事業  
立命館大学、龍谷大学および滋賀県立大学との連携事業継続  
  
公害防止管理者(水質関係)資格試験「事前受験対策講座」  
開催時期:令和3年6月17日(木)20日(日)21日(月)24日(木)27日(日)  
開催方法:ZoomによるWeb開催  
主催:龍谷大学REC・(一法)関西環境管理技術センター  
後援:(公社)滋賀県環境保全協会 他  
(その他は継続事業に記載)

### 《 組織活性化委員会 》

1. (公)・会員増強・・・【目標400社】  
令和3年度も引き続き会員増強キャンペーンを展開して退会防止に努める  
新規会員への滋賀県環境関係条例集の贈呈を令和3年12月28日まで延長

2. (公)・企業見学会の開催

設立 40 周年記念企業見学会の計画…詳細未定

開催時期：10 月頃予定

3. (法)・関西環境管理者交流会

「滋賀県立琵琶湖博物館」での講演会及び見学会

令和 3 年度は当協会が幹事(令和 2 年度は中止)

(京都工業会・神戸地区環境保全連絡協議会・当協会)

開催時期：令和 3 年 10 月 13 日(水) 開催場所：滋賀県立琵琶湖博物館

『 継続事業 』

1. (公)・「法・条例を学ぶ講習会」(共催：滋賀県・協力：大津市)

《目的》…「当協会の事業のメイン講座としての位置づけから上期実施の継続事業」

開催予定日…9/8. 9/10. 9/15. 9/22. 9/28. 9/29(予定)の 6 回シリーズで県と調整

開催場所 …コラボしが 2 1、勤労福祉会館大ホール等

2. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催：滋賀県 6 環境事務所および大津市の合計 7 地域)

《目的》…「滋賀県環境事務所 6 ヶ所と大津市環境政策課と連携」

地域別事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供をもとに地元企業の  
共通課題を解決するための研修会としての位置づけ

また非会員にも積極的に参加してもらい協会事業 PR の場ともする

3. (公)・大学との連携事業

《目的》…大学と企業の橋渡し役として大学で行われている「科学技術の基礎研究」  
と企業で行われている実践的な「応用研究・開発」をつなぎ、将来のイノベーションが期待される科学技術のシーズを実現化する

① 立命館大学との共催 ・琵琶湖Σ 研究センターとのシンポジウム共催

② 龍谷大学との共催 ・REC BIZ-NET 研究会との連携及び協力

③ 滋賀県立大学との連携 ・9 月 インターンシップ生 1 名程度受入予定

『 新規事業 』

1. (公)・琵琶湖再生法による保全再生と活用との循環の推進

《目的》…協会より滋賀県へ琵琶湖保全再生施策計画で、森林保護の大切さを訴えてきたが、森林知識を得る講演会と森林整備ボランティア活動の体験を通して森林保全への認識を深める

令和 3 年 10 月 16 日(土) 雨天の場合 17 日(日) 多賀 高取山ふれあい公園

令和 3 年 10 月 23 日(土) 雨天の場合 24 日(日) 朽木 森林公園くつきの森

令和 3 年 10 月 30 日(土) 雨天の場合 31 日(日) 栗東 こんぜの里

2. (公)・SDG s (持続可能な開発目標) 令和 3 年度活動

・今後とも協会事業として新型コロナウイルス感染症にも十分配慮しながら、  
17 項目を意識して展開する必要がある